

平成28年度射水市食育推進会議

1 開催日時

平成29年2月9日(木) 午後1時30分から

2 開催場所

射水市役所3階 302会議室

3 出席者

委員 木田委員、亀谷委員、尾上委員、尾山委員(代理 新湊漁業協同組合参事西本)
河岸委員、中林委員、丹羽委員、森永委員
事務局 福祉保健部島木次長、釣保健センター所長
泉生活安全課長、衛子育て支援課長、松長港湾・観光課長、三浦学校教育係長
熊藤政策推進課主任、熊本所長補佐、山口主任、高原主任

4 欠席者

事務局 竹内農林水産課長

5 会議内容

(1) 開会

- ・配付資料の確認

(2) 委員紹介

(3) 会長の互選及び副会長の指名

- ・木田会長より亀谷食生活改善推進員協議会副会長を副会長に指名

(4) 会長あいさつ

(5) 議事

- ・食育関連事業の進捗事業の説明 資料1、資料2、資料2 追加資料
- ・射水市食育推進計画の数値目標についての説明 資料3
- ・報告事項の質疑応答

(午後1時30分 開会)

会長	<p>自分は学校保健会の会長もやっているが、早寝早起き朝ご飯ということで、アンケートを取って指導をしています。学校保健会で全校に話をしたり、子供たちが話をする指導をしたりしています。最近では朝ごはんを食べるだけではなく、中身が大事だということを言っています。小学校、中学校の子どもたちを通じて、親にも情報が伝わるようになるとよい。親が朝ご飯を食べる習慣がないようなので。青年会議所でも話題にはなりますか。</p>
青年会議所	<p>2013年にタニタ食堂の所長を招いて講演を開いたけれど、それっきりになっています。</p> <p>運動は多少していたり、食に関してもわかってはいるが、夜に会議の後に、みんなで酒を飲んだりして改善できていません。</p>
会長	<p>富山市・射水市・高岡市の小・中学生を採血し、コレステロールを測っていると肥満度が減少しています。統計的に優位さがある条件は運動をしている運動が好きな元気キッズでした。ここ5～10年でそういった子供たちが富山県の肥満度を減らしているデータが出ています。学校の取組はどうでしょうか、給食とか。</p>
小杉中学校栄養教諭	<p>学校給食では、射水市の基本献立作成ということで、栄養教諭が集まって地場産物を使った「射水の日」を設定しています。そういった特別な日ではない普段のときから、農協さんに協力してもらって射水市の食材を取り入れています。私は中学校で食に関する指導も携わっているが、朝ご飯をテーマにとってみると、子どもたちの力では「食べたい」という思いがあっても、朝ご飯が食卓に並ばない、朝ご飯を食べれない、だから恥ずかしくて授業に積極的に参加できないという思いが高まってしまうので、中学校では、高校になったら自分たちで食事を作らなければいけないんだという自立に向けて指導を進めています。</p> <p>家庭にも啓発したいという思いがあり、給食だよりを使っているが紙面で書くというよりも、実際に子どもに授業でこういう朝ご飯がいいんだよ、食べるだけじゃなくて内容もこういうものもいいんだよということを授業で学んで、それを週末課題として実際に家の人に作ってあげようと、子どもを通して家庭への啓発につながるようにと仕組みで授業を行っています。</p>
会長	<p>ありがとうございます。小学校で富山県でインパクトがあるのはカニ給食ですよね。小さいときにカニアレルギーがある子がずっと来てなかったのに、カニが食べられるか採血してくれってきましたね。これははず</p>

	っと続けていくんですか
漁協	<p>カニ給食については、10年以上続けていて小学生にカニ1杯を食べてもらい、大人になっても忘れないように、給食の普及活動の一環として、これからも続けていきます。</p> <p>同様にお魚の捌き方教室もさせていただいています。高校を中心に、うちの尾山会長が出向いてやっています。スーパーに行けば三枚におろしてあったりとか、食べやすいように作ってあって、鮮度の高い魚を食べるチャンスを作りえていない状況です。</p> <p>射水市は県内で魚種が多いところです。夏がホタルイカ、秋がベニズワイガニ、冬がブリ、白エビと県がブランド化している4種全部を水揚げしているのは射水市だけです。鮮度のいい状態で届けたいが、近いようで現実には遠いです。</p> <p>射水市の皆さんにいかに早くいい鮮度で届けるか研究しています。</p>
会長	ありがとうございます。その季節に料亭に行くと出てきますよね。
会長	食生活改善推進員は広報いみずでインパクトありますね。食育の日とかレシピとか出るとインパクトありますね。食生活改善推進協議会と食生活改善推進員は関係があるのですか。
事務局	食生活改善推進員が協議会を設置しています。会員全員で協議会を作っています。
会長	352名で今年度20名が卒業するので372名になります。
会長	すごい数ですよ
副会長	ただ、昔に比べて減りました。今は共働きで、定年を迎えても働いている方が多いです。お誘いしても、「ボランティアも大事だけど、働いたほうが小遣い稼ぎできる」となかなか入ってくれる方が少ないです。全盛期よりも、若い方がなかなか入ってくれなくて高齢化していますし、80歳になったらやめさせていただきたいといわれます。会員数は一番多いときに比べて半分くらいになっています。
会長	お年寄りも65歳からではなく75歳からにしようとして日本全国でなっていて、これからもさらにそうなっていくですよ。
副会長	私たちは活動としては食育全体にタッチしているが、特に私たち大島支部では南部保育園に32年おやつとか食育の指導に行っています。

	<p>今、市場に市販の美味しいお菓子が出回っていますが、なるべく手作りのおやつをお子さんに与えてくださいと言っています。親子で簡単にできる料理を教えて食育の話をして、その時に先程の朝ごはんの話をしています。園児に朝ごはんを食べてきたか聞くと9割方手を挙げるのを見ると、そういうところは伝わっているのかなと思います。お母さん方に食育ってどういうことかわかりますかと聞くと、「よくわからないけど、食べさせることかな、食事することかな」と半数以上が返ってきます。</p> <p>食育はいろいろな面で大事なことなのですが、食事を家族そろっていただく、そのときに野菜を作ってくれた農家の方に感謝する心を育てることもそうですし、「いただきます。」「ごちそうさま。」の躰もそうですし、家族そろって食べ、家族のコミュニケーションを作ることで、親子の愛や心が育つこともあるのではないかとそういうことも指導しています。</p> <p>食べることも大事ですけど、成長期の子どもさんですからバランスを取ることも大事です。スーパーへ行って感じるのが、カゴを見ると惣菜が入っていることが多いです。富山県はコロッケが全国で1番だが、今はおふくろの味というよりもパックの味やコンビニの味に変わってきているのが嘆かわしいと感じます。我が家の伝統の味をどんどん伝えていきたい、そういう指導もしていきたいと思いを力を入れている。</p> <p>あと、ワンコイン婚活ということで若い方たちに指導しています。市の後援を得て、若い30代や20代の方に食育の話をさせていただいています。朝ごはんを食べているか質問すると、同居なので8割くらいは食べているようです。バランスの良い食生活、野菜350gを目指し、あと一皿野菜をとってほしいという指導をしています。</p>
会長	<p>いろいろな意見を言ってもらいありがとうございます。</p>
会長	<p>数値目標が食育推進計画に数値化の意味づけがあるか難しいと思います。数値化して評価するのではなく、活動を続けていくことに意義がある活動が多かったかと思います。</p> <p>毎年同じ質問になるが、朝食を欠食する20歳以上が多いが、H26とH27のアンケートの仕方と対象者が違っていたということはないですか。</p>
事務局	<p>4番の朝食の欠食についてはH27年度は3歳半健診に受診された子供のご両親にアンケートを取りました。20～40代で、お母さん方が604名、お父さん方が577名でアンケートを取り、参考値としてい</p>

	ます。
会長	<p>学校保健会で言いますと、朝ご飯を毎日食べてくる生徒の割合が毎年これくらいの数値で100%にならないのは、お父さんお母さん自体が習慣として食べることに意識を持たないとどうしても残るよねと現場の意見で終わっています。逆に子供達を通じて、お父さん、お母さんに朝食が大事だよねって話されていく場があるといいですね、となっていますよね、授業参観などでお話しできていくといいですねと学校保健会で話しています。</p> <p>小学校で実施しているすこやか健診ですが、要医療や経過観察の割合が下がっていますが、自分もかかわっていますが、小学校4年生だけではなく、富山市・高岡市のように中学生のお子さんにもやってあげた方がいいと思います。射水市の教育委員会に聞いてみますと予算がないということでしたが中学生もやった方がいいと思います。</p>
漁協	<p>学校や保育園の給食で、このような割合となっていますが、割合を挙げていく障害となっているものは何でしょうか。他の市町村でも同じ割合なのか教えてください。</p>
学校教育課	<p>地産地消の推進については、射水市の地場産活用推進協議会を設けて、学校教育関係者と農協、農林執行センター等で会議を開いています。1年間の地産地消の拡大に向けて毎年学校側と生産者と会議を開いています。農林水産課が所管している県の補助事業で地産地消を活用すると補助金が交付される助成事業もあり、地産地消割合が拡大できるように取り組んでいます。ネックになるのは学校給食で一定量を確保しなければいけないということがあるが、我々としてはできるだけ推進しています。</p>
子育て支援課	<p>保育園としては小中学校と違い補助金が出ないので、決められた予算の中でなるべく射水市産のものを金額を抑えて取り入れたいと思っています。保育園が射水市中に散らばっており、ある一定の時間までに配達していただくため、近くの八百屋や魚屋から調達しており、地産地消のものを取り入れにくいということもあります。全体で農協で配達が大丈夫なものは地産地消のものを取り入れるようにしている。</p>
事務局	<p>地産地消については、国・県の食育推進計画の中で評価目標の数値を挙げているが、ともに目標値を30%としており、射水市は増加としています。</p>

<p>学校給食運営委員</p>	<p>中学校で長い間担任をしていたが、朝ご飯を毎日食べてくる生徒の割合が 97.9～98.3%というのは自分が働いていた当時から見ると自分の感覚として非常に高いと思う。親御さんの努力や市の取り組みが功を奏しているのではないかと思います。学校でも、栽培活動や感謝の気持ちを育んだり、委員の子どもを中心に箸の使い方や栄養の偏りの問題を勉強しています。</p> <p>1番学校で難しいなと思うのは、家庭の中でどこまでタッチできるかです。いろいろな取り組みをしているが、給食だよりを作って子どもたちを通して親御さんと一緒に食べてくださいねとか、1番面白かったのは朝ご飯の自慢できるレシピを書いてきてもらい、面白いなと思ったのを全校に配布しました。ちょっとした工夫でサンドウィッチがおいしくなったりとかありました。</p> <p>その中で思うのは、家庭の中で学校の中の取組でおいしいものを子供を通して内面から「おいしいご飯を作らなければいけない」という気持ちにさせることが大事だと思うが、毎日の仕事で大変な家庭や父子・母子家庭がある中で、100%に近づけることは大事だが必ず100%にしなければならないという数字の見方はそぐわないと感じます。</p> <p>うれしかったのは、給食委員の実施したアンケートで給食の時間が楽しいという回答が100%だったことです。給食がおいしいからではなく、友達と一緒に食べるからという理由が多く、学校の先生にとっても感謝しました。朝ご飯を欠食している生徒でも親になったときに、一緒に食べるのが楽しいから子どもと一緒に食べようと思うことが食育ではないかと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>保育園でも、保育士さんがおやつを作ってくれています。小児科でもほとんど食わず、体重が増えない子供もいたりします。外国人の子どもで、お母さんが作る母国の料理は食べなくても、給食や日本の食事なら食べるこどもがいたりします。子どもは日本の味に慣れているが、お母さんは自国の味で作りたい。何がその子にとって当たり前の味になるのか。そういったときに地場産が大事だなと感じます。</p>
<p>会長</p>	<p>食育推進会議は年1回の開催ですか。</p>
<p>事務局</p>	<p>そうです。予算の関係上この時期の開催となったが、29年度はもう少し早い時期に開催し、予算に反映できるようにしていきたいと思いません。</p>

会長	<p>学校教育課で中学校のお子さんの採血をお願いします。内々にもお願いしてもガードが堅いので。富山市、高岡市は小学校と中学校のデータを比較できる。中学校の時の肥満と大人になってからの健康が移行していくと考えられるので、情報を集め有効な流れであるとなった時に予算化を考えていただきたいと思います。</p>
学校教育課	<p>学校保健会、学校教育課一体となってより良い方向へ進めていきたいと 思います。</p>
会長	<p>議事は以上となります。</p>
所長	<p>閉会</p>

(午後2時50分 閉会)